

千歳市教育委員会だより

からふる

平成25年11月 秋号
発行：千歳市教育委員会

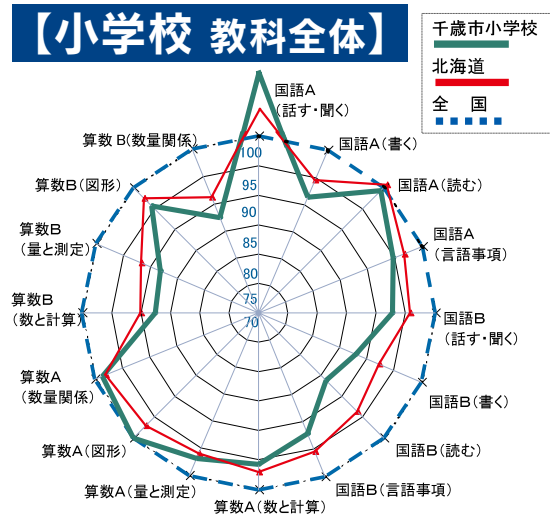
「からふる」は、千歳市の特色ある教育や学校の取組を広く紹介するために、年4回発行する季刊紙です。子どもたちや学校にはそれぞれの特徴があります。その個性がさらに色鮮やかに輝いてほしいという願いを込めて「からふる」と名づけました。

平成25年度「全国学力・学習状況調査」の結果

- 調査対象…小学校第6学年及び中学校第3学年(北進小中学校を除く市内全校)
- 調査の内容…教科に関する調査(国語、算数・数学)、生活習慣や学習環境等に関する児童生徒質問紙調、学校の教育活動や教育課程に関する学校質問紙調査
- 調査実施日…平成25年4月24日(水)

学力向上は、学校の重要な使命の一つであり、各学校は精力的に努力を重ね、着実に成果が現れています。千歳市教育委員会では、さらに学習環境の整備に力を入れていきます。子どもたちの「家庭学習の時間が短い」という結果は、「テレビ・ゲームの時間が長い」ことが一つの要因です。家庭学習「学年×10分+10分以上」(中1→7学年)を目安として、家庭での学習習慣をしっかりと身につけさせることがとても大切です。

【小学校 教科全体】

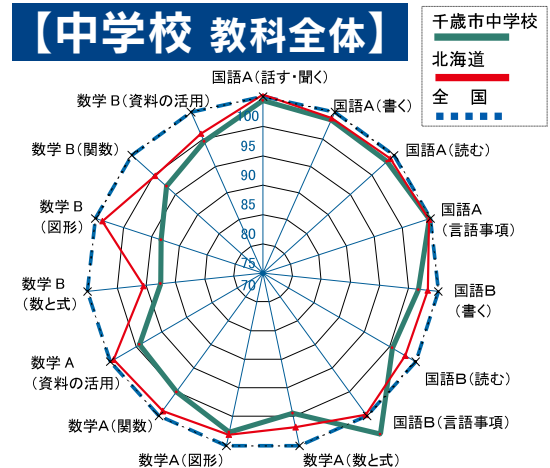


全国平均との差は確実に縮まっていますが、各教科とも全国平均と比較するとやや低い状況です。

小学校全体では、昨年度に比較し、向上がみられ、全道との比較においては若干下回ったものの全国との比較では、その差は相当縮小されました。これらのことから、全体としては取組の成果が得られたものととらえることができます。

とりわけ、国語A(話すこと・聞くこと)は全国を上回り、国語A(読むこと)、算数A(図形)、算数A(数量関係)については、全国の正答率に近づいています。また、国語A(話すこと・聞くこと)、国語B(言語事項)、算数A(数量関係)においてかなりの改善がみられました。しかし、国語B、算数Bについては課題を残していることから、さらに指導の工夫が必要です。

【中学校 教科全体】



小学校よりも全国平均に近づいていますが、やや全国平均を下回っており、改善の余地があります。

中学校全体としては、全国・全道と若干差が開いた結果となりました。国語A(主として「知識」に関する問題)では、昨年度と同様に、各領域とも全国・全道とほぼ同じです。国語B(主として「活用」に関する問題)については、「言語事項」で向上がみられ、全国・全道を上回っていますが、「書くこと」と「読むこと」では、低下しています。数学Aは昨年度と同様に各領域で全国をやや下回り、数学Bでは数量関係において向上がみられますが、図形では低下しています。国語に比較し、数学で全国と差が開いていますが、数学A(主に知識)の基礎・基本的な力をつけながら、数学B(主に活用)の向上につなげる必要があります。

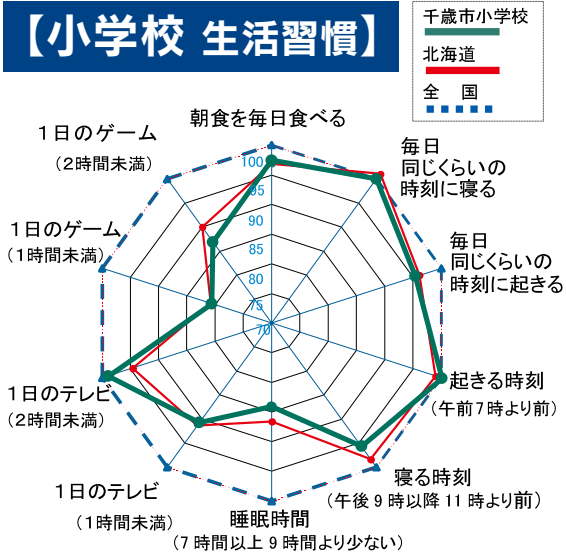
千歳市ホームページに「からふる」のバックナンバーを掲載しています。
URL : <http://www.city.chitose.hokkaido.jp/>

千歳市 からふる

検索



【小学校 生活習慣】



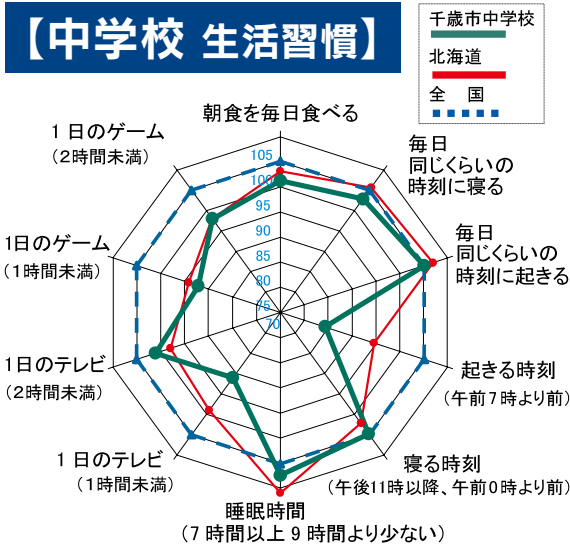
睡眠時間は十分ですが、テレビやゲームに費やす時間が長い傾向にあります。

睡眠時間は「9時間以上」の児童が多いことから「7時間以上9時間より少ない」児童の割合が低くなっています。睡眠時間は十分に取られているといえます。

一方、テレビを見たりゲームをしたりする時間について、1時間未満と答えた児童がかなり少なく、ゲームでは、2時間未満と答えた児童が相当少ないことから、多くの時間がテレビやゲームに費やされていることが分かります。

学校では、これまでも、生活点検週間などを設け指導をしていますが、今後も家庭と協力し、生活習慣の向上を目指していく必要があります。

【中学校 生活習慣】



起床時間が遅く、テレビやゲームに費やす時間が長い傾向にあります。

中学生の生活習慣は、睡眠時間を除いてあまりよいとは言えません。起床時刻はかなり遅い傾向が見られ、「朝食を毎日食べる」ことは改善傾向にありますが、全国平均よりも低い状況です。

今後は「早寝・早起き・朝ごはん」を合言葉に規則正しい生活をさせていく必要があります。また、小学生と同様の傾向として「テレビの視聴時間」や「ゲームの時間」が全国平均よりかなり長い様子が見られます。

学校と家庭が一層連携を図り、改善していかなければなりません。生きる力の基盤となる生活習慣をしっかりと身に付けさせていくことが大切です。

コーディネーション運動の普及に取り組みます

ピアノを弾く脳・字を書く脳・ボールを蹴る脳～脳は一つ

2020年のオリンピック開催が決まった東京都では、学校教育にコーディネーション運動の導入を進めるというニュースが流れ、全国的に注目されはじめています。この分野の専門家の徳島大学大学院の荒木秀夫教授は、コーディネーション運動について次のように語っています。

「運動の能力の伸びは会話や音楽、勉強にも結び付きます。なぜなら脳は一つだからです。……(中略)……ピアノを弾く指がボールを投げ、字を書く。すべて運動に関わる能力の表れです。特定の動きがうまくなるのではなく、能力全体の可能性を広げる。それがコーディネーション運動です」

このコーディネーションの能力は、反応、リズムやバランス等に分類され、誰でも楽しく汗をかき運動することで、運動神経の発達を促し、運動能力の向上が期待できます。



ドリブル・頭でトラップ (日の出小3年生)



右手はグー・パー・グー
左手はパー・グー・パー (千歳小1年生)

今年度、千歳市教育委員会では、コーディネーション運動の可能性を探るため「学力向上検討委員会」に、「コーディネーション運動についての専門部会」を設置し、調査研究に着手しています。現在、千歳市教育振興会の体育部会の小学校教師6名が実際に指導を行いながら、普及に向けた検証を進めているところです。

学校の特色ある取組を紹介します!

末広小学校

自然、命を大切にする心、生き方を学ぶ ～アイヌ文化学習～

末広小学校では、平成5年からアイヌ文化学習の取組が始まり、平成8年には2階の空き教室にアイヌ民族の伝統的家屋である『チセ』が完成しました。この年、6年間で約100時間学ぶカリキュラムができあがり、アイヌ文化学習は20年目を迎えています。平成23年6月にはアイヌ文化学習の取組が評価され、ユネスコスクールに認定されました。

これを機に本校の実践を世界中の学校に紹介することが可能となりました。平成24年の運動会全校リズムからは、子ども達が学んでいるアイヌ文化にもっと多くの方々に触れていただきたいと考え、児童と保護者、地域の皆様が参加して、アイヌの古式舞踊である『ホリツパ』を踊りました。ご来校の際には、是非一度『チセ』をご覧ください。



アイヌ民族の住居「チセ」



アイヌ文化学習の講師野本久栄氏

祝梅小学校

ぽかぽか言葉でいじめ「0」を目指す ～環境教育・人権教育による豊かな心の教育～

よりよい環境づくりへの行動力と生命尊重の精神を育む環境教育、互いの差異を認め合い、協力して生きていく態度を養う人権教育を通して、豊かな心の育成に取り組んでいます。中でも、サケのふるさと館の協力を得て、平成5年から始めたサケの飼育活動は、千歳中央ライオンズクラブのご厚意により、平成10年からは岡山市立西大寺南小学校とのサケの使節団派遣交流へ発展し、本校の環境教育の中核となっています。また、人権擁護委員の方に来ていただいて実施する人権教室、千歳市社会福祉協議会のご協力による福祉体験学習を、毎年、全学年で実施するなど、6年間を通した人権教育を教育課程に位置づけています。このような教育活動を基に、今年度、「ぽかぽか言葉」の取組が児童会において始まりました。

祝梅小学校を心が「ぽかぽか」する言葉でいっぱいにして、いじめのないあたたかな学校にしようという児童会の自主的な活動です。「ぽかぽか言葉の歌」や「ぽかぽか言葉週間」など、「認め合い、学び合う祝梅っ子」(重点教育目標)を目指した活動が広がりつつあります。



ぽかぽか言葉と子どもたち

向陽台中学校

伝統の行灯行列が今年も地域に! ～向中フェスティバル～

向中フェスティバルと称して、開校当初より文化の集い・スポーツの集いを実施しています。今年度は9月に「色～それぞれの花、仲間との色、重ねた先に光を放って～」をテーマとして実施しました。クラスごとにデザインを考え垂木や胴縁で土台を作り、それに針金を使って半紙が貼れるように形を整え、明るく光るようにろうそくの位置や半紙に色を塗って工夫を凝らして制作した、メインモニュメントの手作り行灯と、それに合う衣装を作り一人一人が手持ち行灯をもって地域を一時間ほど保護者の交通整理の協力を受けて歩きました。歩いていた生徒たちの笑顔がとても印象的で、クラスが一体となって歩く沿道では、多くの地域の方々に応援をいただきました。



行列の様子

子どもの生活リズムを整えましょう!

子どもたちが、意欲を持って勉強やスポーツに取り組むためには、規則正しい生活習慣を身につけることが大切です。道教委では、平日の授業時間以外の学習時間を「学年×10分」を基本とし、「+10分以上」を努力目標としています。ほかに、運動時間は1日60分以上、テレビやゲーム、インターネットなどは1日合計2時間以内、読書は1日10分以上、部活動や少年団活動は平日放課後の2時間以内、休日は半日以内などを目安としています。(地域や子どもの実態に応じて設定することが大切です)適切な睡眠時間と1日3回の食事など、規則正しい生活リズムを守りましょう。

とびっくす

■千歳の子どもたちはすごい！ 各分野で活躍しています■

東千歳中の亀田さんと北斗中音楽部が千歳市民文化奨励賞を受賞しました

11月5日に開催された「千歳市表彰授賞式」において、東千歳中学校3年の亀田くるみさんと北斗中学校の音楽部が、山口市長から平成25年度千歳市民文化奨励賞を授与されました。

亀田くるみさんは、国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクールにおいて、応募作品「植樹する兄弟」が最高位の特選に選ばれ、唯一の「農林水産大臣賞」を受賞しました。また、北斗中学校音楽部は、第34回全日本リコーダーコンテストにおいて、合奏編成で金賞を受賞し、特に優れた団体に贈られる「花村賞」を受賞し、日本一に輝きました。今後も千歳の子どもたちの活躍を願っています。



「ふるさとポケット」小学生575枚の絵展示

9月29日に青葉公園で開催した第18回「ふるさとポケット」の会場には、市内小学生が描いた絵画575枚が展示され、来場者の目を楽しませていました。入選・準入選に選ばれた4名の表彰式も行われました。



左から 入選 千歳小2年 内山怜くん 準入選 北陽小2年 柳瀬のぞみさん 準入選 桜木小2年 岩切光稀くん 準入選 泉沢小2年 石山玄真くん

小学生16名が指宿市を訪問しました

8月に市内の小学6年生16名が姉妹都市の鹿児島県指宿市に行ってきました。平成7年から始まった相互交流事業は今年で19回目を迎えます。

この夏、指宿市に行った児童はオリビン採集などを行い、普段得ることが出来ない体験をしてきました。12月には指宿市の児童たちが千歳市にやってきて、スキー体験などで交流を深めます。



青葉中・東千歳中 陸上・絵画に大活躍

横浜市で開催された「第44回ジュニアオリンピック陸上競技大会」において、砲丸投げで青葉中学校3年田中凌平くん、2年斉藤翔くん、やり投げ競技で、3年川向雅都くんがそれぞれ自己ベストを更新し、入賞するなど、素晴らしい成績を収めました。



「緑化活動啓発作品コンクール」において、東千歳中3年の明石卓也くんが道知事賞に、3年福田真子さん、辻谷ななさんが奨励賞を受賞しました。明石くんの作品は全国展に出品されます。

千歳小・富丘中・千歳中から参加

10月26日に全道14管内19会場をライブ配信システムで結んだ「どさんこ☆子ども全道サミット」が開催されました。

千歳市からは、千歳小学校2名と富丘中学校2名が石狩会場に参加し、「全国生徒会サミット2013」に参加した千歳中学校からは1名がメイン会場に特別参加しました。

千歳中3年の寺本穂さんは、「学校で私たちが先頭に立って、いじめはいけないことという雰囲気をつくるのが大切。これからいじめをなくす取組を続けよう」と呼びかけていました。



ALTの先生 学校を支える人たち

千歳市には、小中学校の外国語授業を支援する外国人英語指導助手（ALT）が5名います。子どもたちが生きた外国語を学び、国際的な視野をもって成長できるようゲームなどを取り入れながら楽しく授業が進められています。

また、授業に限らず給食時間や休み時間なども子どもたちと過ごしているほか、様々な学校行事にも参加し、子どもたちと交流を深めており、子どもたちにとって外国の文化や習慣を学ぶ貴重な機会になっています。

外国人英語指導助手



左から アリソン、アレックス、アラン、ケルビン、マーティン

編集・発行 千歳市教育委員会（教育委員会庁舎2階 教育部 企画総務課）

■住所：〒066-8686 千歳市東雲町2丁目34番地 ■電話：24-0819（直通） ■FAX：27-3743

■e-mail：kyoikukaku@city.chitose.hokkaido.jp ■URL：http://www.city.chitose.hokkaido.jp/